

# 平成 29 年度 かがわ省エネ節電所の取り組み状況について

平成 29 年度のかがわ省エネ節電所の参加状況は、次のとおりです。

	参加世帯数	参加事業所数
夏	453 世帯	73 事業所
冬	276 世帯	46 事業所

ご登録いただいた内容をもとに、家庭、事業所のそれぞれについて、取り組み状況の集計を行いました。

## 1. 家庭

集計結果より、「冷・暖房は必要な時だけ使用する」「テレビを見ない時は消す」「使用していない部屋の照明は消す」は、多くの方が取り組んでいるが、「食器を洗う時は給湯器の温度を低温に設定する」「太陽光発電装置や太陽熱温水器などを設置する」「なるべく 17 時～21 時の時間帯を避けて電気製品を使用する（冬）」は、あまり取り組めていないことが分かります。

### ～皆さまから寄せられた省エネ・節電のアイデア～

#### ○冷暖房

- ・夏は日除けを活用し、窓の開閉を細かく行い、エアコンの使用時間を少なくする。
- ・暑いときは冷たいものを飲み体を冷す。
- ・エアコン使用時にはサーキュレーターを使用し、効率向上に努める。
- ・土日は公共施設に行くなどし、自宅でエアコンを使わない。

#### ○キッチン

- ・お湯を沸かすときの鍋やかんは水滴をふいておく。
- ・保温性の高い鍋を使って余熱で調理する。

#### ○水まわり

- ・植木の水やり・掃除・雑巾がけは風呂の残り湯(水)を使う。

#### ○ライフスタイル

- ・「省エネは みんなで守る 地球の未来」を心掛け、4R（※）に努めている。
- ・朝早く起きて家事をし、夜間電力で洗濯や携帯の充電をする。
- ・電気の使用料をグラフ化し、節電に役立っている。
- ・買物など用事を片づける時は、一度の外出で効率よく片付け、不要な外出を避けている。

※4R=Reduce（リデュース）：ごみを減らすこと

Reuse（リユース）：まだ使えるものを、くりかえし使うこと

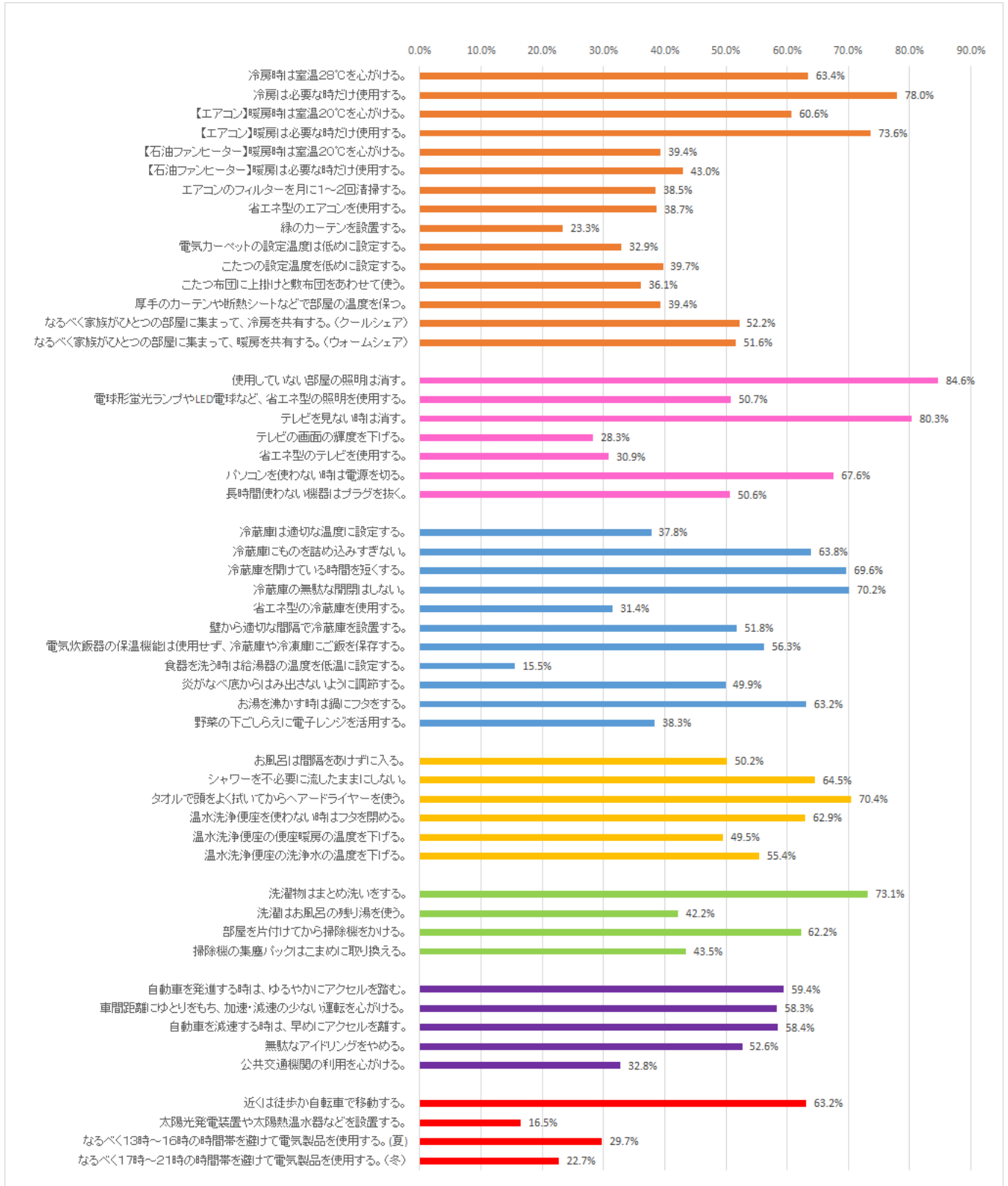
Recycle（リサイクル）：資源としてまた利用すること

Refuse（リフューズ）：不要なもの、余計なものは「いりません」と断ること

## ○その他

- ・常時つけておく必要のない家電は、タイマー付きのコンセントを利用し、自動でオフになるようにする。
- ・センサー付き、太陽光発電の照明を採用する。
- ・電気製品を買い換え時は省エネ効果を確認する。

図1 家庭の取り組み状況

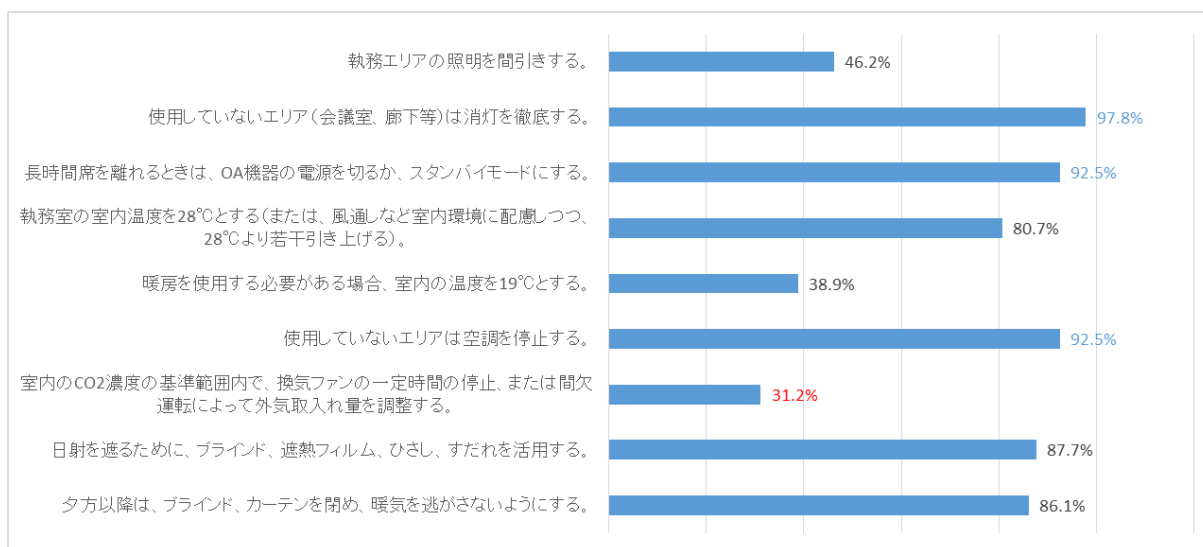


## 2. 事業所

### (1) 事務所

集計結果より、「使用していないエリア（会議室、廊下等）は消灯を徹底する」「長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする」「使用していないエリアは空調を停止する」は、多くの事業所が取り組んでいるが、「室内のCO2濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取入れ量を調整する」は、あまり取り組んでいないことが分かります。

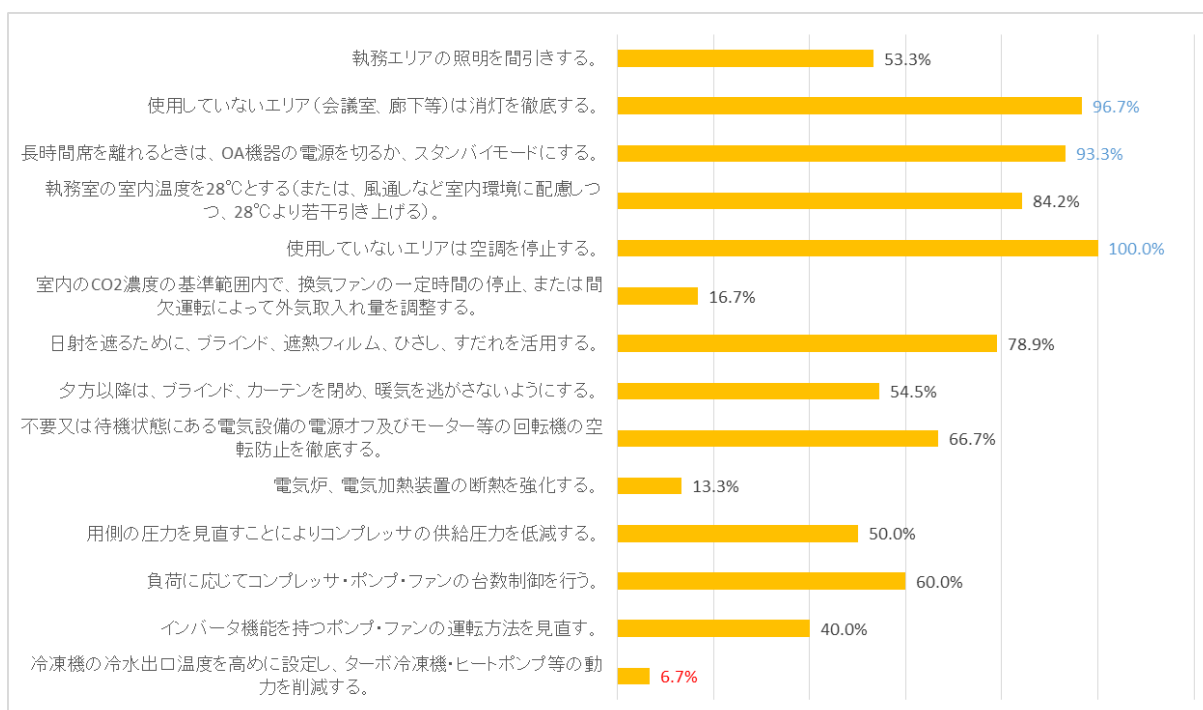
図2 事業所の取り組み状況（事務所）



### (2) 工場（製造業）

集計結果より、「使用していないエリア（会議室、廊下等）は消灯を徹底する」「長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする」「使用していないエリアは空調を停止する」は、多くの事業所が取り組んでいるが、「冷凍機の冷水出口温度を高め設定し、ターボ冷凍機・ヒートポンプ等の動力を削減する」は、あまり取り組んでいないことが分かります。

図3 事業所の取り組み状況（工場（製造業））



### (3) 共通項目

集計結果より、「OA 機器は省エネモードを活用する」「手洗い等、水の流し放し、水の出しすぎに注意する」「ノーネクタイなど暑さをしのぎやすい服装（クールビズ）の奨励」は、多くの事業所が取り組んでいるが、「月1回以上のエコ通勤デーの実施」は、あまり取り組んでいないことが分かります。

図4 事業所の取り組み状況（共通項目）

